

尾鷲市廃棄物減量等推進審議会議事録（要約）

平成27年度第2回尾鷲市廃棄物減量等推進審議会

日 時：平成27年10月1日（木） 13：30～15：50

場 所：尾鷲市中央公民館1階視聴覚室

出席委員：上村紀美男委員、尾川幸穂委員、川上尚子委員、塩津史子委員（会長）、庄司あやめ委員、世古克人委員、中村貴美代委員、西村美代子委員、林幸喜委員（副市長）、東萬寿治委員、山口環委員、山下穂積委員、山本樹委員（学校教育担当調整監）

環境課：仲課長、福屋課長補佐、錦係長、西主査、直江主査

（会長挨拶）

（「尾鷲市廃棄物減量等推進審議会設置要綱」について、案が取れて正式に適用されるようになったことを事務局より説明。その後、配布資料を確認）

（アンケートの集計結果について、事務局より説明。続いて、指定ごみ袋における他市町の状況と今後のあり方について説明。その後、審議に入る。）

<審議委員>

今日の問題であるごみ袋の値段設定について、皆様に聞いていきたい。せっかく定着してきたのに、無料というのはどうでしょうか。市民の皆様もいつ下がるのか気にしている。新聞で仕入れ値が掲載されたので、皆様からいくら下がるのかよく聞かれる。下がるとは思いますが、まだそうところまでは行っていないとお話しましたが、どうでしょうか。何かご意見はありますか。

<審議委員>

ごみ袋が黄色いのに変わったが、すごく弱い。以前の持ち手の付いたものの方がきっちり入って、縛れて綺麗だった。今の黄色のものは大きく見えるが、口を縛った時に結局入る量が少ない。また、すごく薄いので弱い。何人かからそういう声があったので、是非考えて頂きたい。

<審議委員>

前の白い取っ手の付いたものは、裂けやすい破れやすいからこうなった。

<審議委員>

かなり薄い。伸びるような感じはするが、弱い。花とかは覆ったりもするが、裂けることや破れることに関しては変わらないと思う。きちっと縛れるかということ、以前の方が良いと思ったし、地域の人からもそういう意見を聞いている。

<審議委員>

取っ手がある方が使い勝手が良いということだが、私の提案である。愛知県の方でそれを見たので、是非取っ手を付けて下さいと最初の審議会で言った。

<審議委員>

厚さはどれ位か。

<事務局>

現在のは0.03ミリで、以前のは0.02ミリである。

<審議委員>

現在のものは、縛る分だけ入る量が減る。

<審議委員>

みんなから聞いた話では、以前の白いものはプラスチックや卵を入れると裂けてしまう。現在の黄色いのは粘りがあるので、良くなったという意見が多い。取っ手については、あった方が良い。

<事務局>

今回の新しい袋は、一般によくポリ袋として売られているものと同等の厚さ。なぜ取っ手を廃止したかということ、45ℓだと重くなるので、この素材では相当強くしないと伸びてしまうから。それであるなら、有料化前に使っていたごみ袋と同じものにより、ポリバケツに被せやすくなったりもする。小さな袋に関しては中身が軽い、更新の際に考える余地もある。

<審議委員>

最終的にどちらか好きな方を選べれば良いと思う。

<事務局>

意見としてはあるが、2種類作るとなると製造費がかさんでしまうデメリットもある。

<審議委員>

花や枝物は新聞紙を巻いて処理している。

<審議委員>

市販のごみ袋に入れてから処理したりもする。有料化になったのでごみを詰め込んで、沢山入れ過ぎることもある。新しい黄色い袋に移行したのに、元に戻すことはできるのか。

<事務局>

そのまま戻すことは考えにくいですが、他市町では厚くしたりしている所もある。ただ、燃やしてしまうものに、そこまでお金をかけるのかという批判もある。

<審議委員>

市はごみ行政のあり方をどう考えているのか。ごみ袋の収益が沢山出てきているが、処理場が遠く、毎年1億円ほどの費用がかかっている。あと何年もつか分からない中、行政として焼却施設をどう考えているのか。それに対してごみ袋の収益で協力して下さいとなれば、市民は協力すると思うが、そっちは放っておいてごみ袋について議論しても始まらない。

<事務局>

有料化に踏み切った最大の理由は、新しいごみ処理施設を広域で作る際には、少しでも尾鷲市のごみを減らしていく必要があったということ。当時、県下での一人あたりのごみ量が一番多かったこともあり、広域でごみ処理場を作った際に一番尾鷲市が負担しなければならぬ状態であった。現在、新しいごみ処理施設の建設を急いでいるのだが、それまでに尾鷲市のごみを減らしたいというのが一番の目標であった。効果が無ければ意味がなく、環境省の事例では10あたり1円以下では難しいということで、この価格を設定した。当初は製造業務と配送業務を同じ業者でやっていたが、それを切り離したり、袋の材質についても環境に優しい二酸化炭素を発生させにくい素材を入れて高価になっていたが、市販のごみ袋と同じようなものに変えるなどしてコストを下げた。45045円という値段に関しては、市が収入を得たいということではなく、市民の皆様に減量意識をもって頂きたいというのが主目的であった。

<審議委員>

広域でのごみ処理施設建設はできるのか。やれないと思う。市単独でやるぐらいの気持ちでなかったらできっこない。

<事務局>

他市町と一緒にやろうとなった時に、尾鷲市に作ってもやるということになる。市町が集まってやることで費用が全然違うので、うちで作るとなるとのってきってくれる。

<審議委員>

会議などやっていない。

<事務局>

毎月やっている。現状としては、広域でやるとなると端の市町での建設は難しいので、真ん中にある尾鷲市か熊野市で建設するという流れになっている。尾鷲市の中で作れる所があれば、それを表明して、5市町でやりましょうという合意を形成したいと考えている。

<審議委員>

ごみ袋の材質については、次の更新時にもっと厚くする等の問題提起をする。新しい黄色のごみ袋については、沢山発注したのか。

<事務局>

今回の450は1年分。他のごみ袋が来年の春から夏にかけて無くなるので、一括で注文して単価を安くさせたい。

<審議委員>

もう少し強くなれば良い。袋を2重に入れると環境にも良くない。

<審議委員>

袋を厚くしても、プラスチックの量が増えるので難しい。花や枝はできるだけ小さく切って、他のごみと混ぜるなどの工夫をしている。

<審議委員>

始まったころと今では、意識が変わってきた。だんだん、分別せずに入れてしまうことが多くなってきた。再度、意識をリセットするようにしたいと思う。

<審議委員>

アンケートにもあったが、ごみ出しについてまだ理解していない方もいる。クリンクルの方で周知徹底をしっかりとしてほしい。コストについては、現状より下げて頂かないという思いはあるがどうか。

<審議委員>

現在、国勢調査で回っているが、インターネットの用紙を見せると、「ごみ袋も高いのに、こんなほかすものを作って。持って行ってくれ。」と言われる。50円でも下げれば、安くなったという気持ちになる。

<審議委員>

450と300が一番よく使うので、50円ずつ下げて、あとのものは下げないようにすれば良いと思う。

<事務局>

100、150の単価についてはかなり変動があるので、下げると原価割れの可能性も出てくる。

<審議委員>

安くしたりただにすれば、ごみは増えると思う。現状維持が良いのではないか。

<審議委員>

課長が言われた広域ごみ処理施設については、こういうことをやっているとして市民にアピールすれば、協力しなければいけないと思うのではないか。ごみ袋についてはコストを高くして良いものを作るよりも、使う方が創意工夫するよう地域で集まった時などに啓発していただければと思う。100と150の値段を下げないという意見は、コスト的には良いことだと思うが、お年寄りが一番よく使う。お年寄りは値段を下げしてほしい。弱者のことも含めて、トータルで考えるべきではないか。

<審議委員>

古江では葬式や年忌にごみ袋を配ってくれるので、自分で買うことは少ない。個人的にはお茶などは干して乾かしてから出している。値段的には少し下げて頂ければと思う。

<審議委員>

450円は高いと思う。あまりに下げるのも、万が一上げる時のことを考えるとどうかと思う。何の根拠も無いが、10%程度下げるのであれば無理はないと思う。

<審議委員>

無料の時はぎゅうぎゅうに詰めて出していたが、現在は成長して、出すごみに応じて処理の仕方が変わってきた。大きい袋と小さい袋を使い分けているので、大きい袋は高いと思うが、小さい袋も下げしてほしいと思う。

<審議委員>

世古委員の意見に賛成で、あまり下げ過ぎるのは良くないと思う。一旦下げるとそれに慣れてしまい、上げられなくなる。ごみ袋の収益については、ごみ処理に係る経費に充てるということであった。そのことを考えても、あまり下げる必要はないと思う。値段については、10%というのではなく、ならしめてトータルで考える考え方もあると思う。

<審議委員>

定着してきて、上手にごみ出しをするようになってきたが、450円は少し高いと思う。450は50円位下げるのが良い。その下についても、依怙鼻鼻になるので少しずつ同じ割合で下げるべき。

<審議委員>

アンケートの7ページで、「ごみ袋を値下げしたり無料化した場合、ごみ量はどうなると思いますか」という問いに対して、「ごみが増えると思う」が22.1%しかないという説明であった。22.1%とは5人に1人以上は増えると言っているので、「しか」ではないと思う。「分からない」という方も11.3%おり、合わせると3人に1人になるので、ごみ量が増えるのではないかと懸念している。下げてほしいという声が多いのも事実。増えるごみの量と、下げてほしいという意見をどう釣り合わせるかが課題になる。一個人として言わせてもらおうと、4月に有料化されていない津から尾鷲へ引っ越してきて、ごみ袋が高いか安いかはさて置いて、郷に入れば郷に従えということでこの値段を受け入れている。高いという不満があるのは、行政の説明不足もあるのかなと思う。決して税金は無駄遣いしていないので、色んな機会ですら丁寧に説明すべき。分別のアンケートでも「よく分からない」という意見があったが、丁寧に説明すれば分かってもらえる項目もある。市民に対する説明がまだまだ少ないという印象を持っている。

<審議委員>

初めて新しい黄色い袋を使ったが、少し伸びて以前の取っ手付よりも入りにくい。個人的には、生ごみはコンポストを利用しているので出した事は無い。早田では300袋が一番多い。値下げについては減茶苦茶下げるのではなく、ある程度の線で平均してみんな下げた方が良い。

<審議委員>

どうですか。1割位か。もったか。

<審議委員>

1割位で良いのではないか。

<審議委員>

みんなに話を聞いてきたが、値段はこのままで良いという意見が多かった。次の焼却炉のこともあるので、ある程度の負担は必要だと思う。個人的にはプラスチックを資源ごみで出すようになって、出すごみがかなり減った。

<審議委員>

個人の意見になるが、家の裏が集積場になっており、これまで山積みであったものが5袋位になった。ごみの減量意識が高くなったと思う。しかし、値段を下げれば誰でも同じで、何でも入れても良いとなってしまいうので、このままで良いと思う。

<審議委員>

家のごみ出し当番は私。週に2回、450袋をメインに1つか2つを出している。少しでも安くして頂けるなら個人的には有り難い。安くなったとしても、家自身のごみ量は変わらない。しかし、下げ過ぎて減量意識が低下するようなら、一定の水準は保っていくべき。値下げをするなら、ある程度押しなべた方が良い。一番多いものについては、下げ率を上げても良いような気がする。

<審議委員>

先日、婦人会の副会長と話しをしたが、どの袋にも0.8掛けしたらどうかということであった。450円だと360円になり、100だと80円になる。高齢者の方が良く使われるごみ袋を値下げせずには無理だと思う。大ブーイングになる。値下げするのであれば、みんな同じような状況にすべき。私の下げ率は高いが、下げれば良いという問題でもない。

<審議委員>

450と300はごみ量が多いので、沢山出すということで、値下げを少なくし、逆に150と100はサービスして値下げを多くするという考え方は成り立たないものか。

<審議委員>

1人家族の人と4人家族の人では当然ごみ量が違うので、一概にそれを当てはめるのは無理だと思う。また、0.8掛けは下げ過ぎだと思う。それでごみ処理の経費に活かされるのか。

<審議委員>

一旦下げてしまうと、上げるのが難しくなる。それよりも分別ごみステーションを作るとか、環境整備に力を注いでほしい。

<審議委員>

それを含めて、現状維持で良いと思う。

<審議委員>

税金も払っているのだから、下げられるところまで下げてほしい。

<審議委員>

ごみの排出量が県下で一番というのは恥ずかしい。その意識を改革したのはごみ袋の有料化なので、少しずつしていけば良い。20%は下げ過ぎだと思う。

<審議委員>

原価はかなり変動するので、そこに固執するのはいけないと思う。三木浦ではごみステーションが壊れた時に作り直したが、40万円ほどかかった。また、収集後の清掃にかなりの水道代もかかっている。行政からは補助が出ないと言われたが、街をきれいにするためにみんなが出し合っているということ覚えておいてほしい。

<審議委員>

私の所は年間3千円ずつ出し合って、自治会でステーションを作った。市は借金で底をついているので、何もかも行政ではなく自分たちでできることは頑張るべきだと思う。

<審議委員>

ごみ袋が有料化になって収益があるので、各地区で抱えている要望や生ごみの処理方法、紀北町のような常設ステーション等について考えてほしい。

<審議委員>

ごみ袋の値下げを単発で捉えるのではなく、例えば、九鬼であればごみ出しを下まで降りていかなければならないので、途中に集積所を設置してくれるのであれば、値下げはしなくても良いという考え方もある。ごみ袋の値段は、ごみ処理施策と絡ませて考えてほしい。

<審議委員>

値下げをするのは早いように思う。

<審議委員>

ごみ袋の材質が変わって、仕入れ値がこれだけ安くなったと新聞に出たことによって、市民の方は少しでも下がるのではないかという期待が大きい。本審議会が現状維持と言っても納得してもらえないと思う。金額については話しも出尽くしたような気もするが、採決をとった方が良いのか。事務局の方で審議してもらうのか、委員の意見をまとめた上で市長に答申してもらうのか。

<事務局>

提言を頂くということなので、プラスとマイナスの双方の意見でも良いし、ある程度まとめてもらっても良い。これまでの審議である程度の方向性があるので、事務局で集約して、答申のひな型が出来た時にお見せしたい。その辺りを踏まえてまとめて頂ければと思う。

<審議委員>

事務局で集約したものを、案として出してもらえれば良い。

<審議委員>

ここの意見がバラバラになっているので、集約しなければならないのではないかと。ここで決まりましたということが大事だと思う。

<審議委員>

今の101円を90銭にするのか。450と300だけ下げて、150と100を下げないというのはいかがでしょうか。

(複数の委員からは、分かりにくいので全部下げた方が良いという意見有り。)

<審議委員>

いきなり50円まで値下げするのではなく、少し面倒くさいが45円とめた方が良い。その5円の部分はすごく大事。

<審議委員>

それでも構わないが、うちはごみ袋を扱っているので、5円というのはいかがでしょうかと思う。

<審議委員>

小売店さんは1割のリベートがある。450円だと45円。

<審議委員>

5円が面倒くさいので、2つ買ってもらおうと良いのでは。

<審議委員>

(5円の半端があっても) 良いですよ。

<審議委員>

議長の独断と偏見で、(450袋の引き下げを) 50円か45円で挙手をお願いします。

(複数の委員から、全て1割値下げが良いという意見有り。)

<審議委員>

そうでしたら、値下げは1割ということに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

<審議委員>

全員一致でございます。

(指定ごみ袋による収益とその用途について、事務局より説明。その後審議に入る。)

<審議委員>

このように色んなことをしてもらえると良い。資源物の常設ステーションについては、是非作って頂きたい。

<審議委員>

資源物の常設ステーションについては熱望している。これは、紙類に限定したものか。

<事務局>

今のところ紙類を考えているが、腐らないもので入るスペースがあれば、ビン・カンなどへ拡大することは可能。まずは地域に管理をお願いしなければならない。

<審議委員>

クリンクルは初め、新聞紙とチラシを別に出して下さいと言っていたが、次に一緒でもオッケーというようになった。しかし、また別々に出すように戻ってしまった。

<事務局>

数年前からごみについてはもっとシンプルに、新聞は新聞、新聞以外のその他の紙、段ボールというように3種類になった。

<審議委員>

市では、資源物の常設ステーションを各地域に作っても良いという考えを持っているのか。

<事務局>

紀北町は89カ所と広い範囲に設置している。地区センター管内はごみ出しにハンデがあるので、先にやっていきたいという気持ちはある。市の所有地には限りがあるので、地区の方と話し合って、要望等を聞きながらスタートしたい。台風の際に誰かに戸を閉めて頂くとか、管理のこともある。

<審議委員>

リスクもあるが、それなりのメリットもある。

<審議委員>

缶については、アルミ缶とスチール缶は別々にして出すのか。

<事務局>

以前は分けないと業者さんが良い値段で引き取ってもらえなかったが、今は自動で分ける機械も発達してきた。なので、分けなくても良い。

<審議委員>

アルミ缶の収益等も公表してもらえると良い。資源物の常設ステーションについては是非やってもらいたいが、大型の生ごみ処理機については、これだけ大きくてすごい経費のかかるものをしてもらわなくても良いのではないかと。やるのであれば、紀宝町のように生ごみだけを集めてくれる方が良いのではないかと。

<事務局>

大型生ごみ処理機については、焼却する単価と比較してもはるかに高くなり、電気代などの維持費についても各地区に負担してもらう訳にはいかない。現実的ではないが、機械が小型化したり改良されているので、今後の検討課題としたい。

<審議委員>

自治会で作った集積場の改修などにも、ごみ袋の収益を多少使って頂ければと思う。

<事務局>

ガーデンシュレッダーに対する補助や、家庭用の水切り資材の無料配布等についても、減量というのではなく、ごみ出し負担の軽減ということで考えている。

<審議委員>

ガーデンシュレッダーについては、コミュニティセンターに置いてもらって、貸し出ししてくれるのであれば良い。水切り資材については、108円出せば買える。水切りが重要だということを強く言ってもらって、そういうものにお金は使わないでほしい。個人で買える範囲内なので、他のものに使って頂きたい。

<審議委員>

そういったごみ減量に関することをワンセグで流せば良いのではないかな。

<審議委員>

シュレッダーについては、各コミュニティセンター等と検討してもらいたい。

<事務局>

刃物でメンテナンスも必要になってくるため、購入に対する補助も考えている。しかし、庭や畑の枝を処理するのが不要の方もいるので、不公平な部分があってはいけないと思う。町内会や区などでの購入に対して補助をして、以後の管理もしてもらおうというのが理想。

<審議委員>

高齢者になってくると、使えない方もいる。きちっと縛って出せば持って行ってくれるとか、臨機応変な対応をしてもらおうと不用なお金を使わなくて済む。

(その他の答申についての意見を聞くも、特に無し。)

<審議委員>

事務局より、提言及び付帯意見を確認の意味で説明願う。

<事務局>

指定ごみ袋の今後のあり方については、10%値下げをする。販売店への手数料についての話しは無かったが、今まで通りにするのかどうするのかを、持ち帰って他の販売店さんと詰めさせてもらう。指定ごみ袋の収益と用途については、周辺地区を優先した常設ステーションの設置を方針としてを盛り込んでいく。各収益についても公表していく。リサイクルセンターについても設置の方向で盛り込んでいく。ごみ出し場所の設置や手当、ワ

ンセグでのごみ減量のPRや周知徹底。木の枝については、ひもで縛って出せるようにできないか。これらのものについて、優先順位を付けて出来ることからやっていくように答申へ盛り込ませてもらう。

<審議委員>

本日の審議で答申書に盛り込むことになったものについてまとめていただき、次回の審議会開催前に各審議会委員さんに送付して頂くよう事務局に願います。

<事務局>

事前に答申書の案を作成し送付させてもらうので、各審議委員様には確認して頂いた上で答申について審議して頂くようお願いする。

<審議委員>

その他に何かご意見は無いか。無ければ、事務局から何かあれば。

<事務局>

前回の審議会の審議内容と、今回の審議内容については議事録を作成することになるが、これをホームページで公開したいと考えている。この議事録は個人名が出るものではないので、ご了承頂きたい。また、アンケートに協力してくれた方への感謝も一緒に載せたい。

<審議委員>

皆さん、よろしいか。

<審議委員>

次回の開催予定はいつか。

<事務局>

1ヶ月先の10月末から11月頭を予定している。

<審議委員>

長時間に渡り、ありがとうございました。

以 上 。